



対立からのアプローチ (3)

・ そもそもの目的は？

会社全体のスループットを最大にする

ITへのニーズを効果的に満たす

IT部門が優先順位を決める

生産効率を向上させる

生産管理部門が優先順位に影響を及ぼす

対立

2018/10/16 Toyohiko Hirota 7

目的からのアプローチ

会社の利益を最大にする

顧客を満足させる

よりよい製品を開発する

競争を勝ち抜く

必要経費を減らす

対立

2018/10/16 Toyohiko Hirota 8

・ そもそもの目的は？

会社全体のスループットを最大にする

ITへのニーズを効果的に満たす

IT部門が優先順位を決める

生産効率を向上させる

生産管理部門が優先順位に影響を及ぼす

対立

会社全体のスループットの改善でIT部門を評価する

2018/10/16 Toyohiko Hirota 9

演習

1. 当初の問題またはシステムを確認します。
2. クラウドを作成します。
3. そもそもほんとうに矛盾していますか？
4. 最終的な目標は、望ましいものですか？

2018/10/16 Toyohiko Hirota 10

演習の手順 (1)

- ・ 本日のファシリテータ (司会・新呼応係) を決めます。
- ・ どんな問題を解くかを確認します。
 - ・ 効用分析の再確認
- ・ 目的からのアプローチ, あるいは対立からのアプローチ, いずれかを選択します。
- ・ クラウドの要素を埋めます。

2018/10/16 Toyohiko Hirota 11

演習の手順 (2)

4. ファシリテータがグループを代表して、演習結果を教員に報告します。
 1. 本日作業したA4用紙を提示します。
 2. 終了時間になったら、作業途中でも、そこまでの中間成果を提示します。
 3. ファシリテータには出席カードを渡すので、表の自分の学籍番号と氏名を記載し、裏面にはグループ番号を記載し提出してください。

2018/10/16 Toyohiko Hirota 12

演習レポート (レポート3)

- ファシリテータは次回授業開始時までにはレポートを提出しなければなりません。
- レポートは、教材のWebページから所定のExcelファイルをダウンロードし、演習結果を記入してください。
- ファイルは教員宛てのメールに添付ファイルとして送付してください。
 - 件名：レポートx グループy
 - 本文：提出者（ファシリテータ）の学籍番号と氏名
 - 添付ファイル名：RxGy.xlsx

xはレポート番号、yはグループ番号です

予習課題

- 次回のファシリテータを決めます。
- ファシリテータは他のメンバの協力を得て、第3回～第5回の結果をスライドにまとめ、発表できるように準備してください。
- まとめたスライドは締切までに教員宛てに添付メールで送ってください。
 - 10月22日（月）17:00
- スライドのテンプレートは教材のページからダウンロードしてください。

おわりに

- 次回はいくつかのグループからの発表について討論してもらいます。